

## 第17回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト ファイナリスト決定のお知らせ

厳正なる審査の結果、ファイナリストの8プランが決定しました。

12月22日（金）の最終審査会にて、下記8プランのうち、グランプリ、九州経済産業局長賞、九州経済連合会長賞、優秀賞、NEDO特別賞が決定します。

（学校名50音順 敬称略）

	学校名	学部名	代表者	共同提案者	プラン名	プラン概要
1	有明工業 高等専門学校	電子情報工学科	角 佑都	大塩 悠貴（佐賀大学大学院）、 鴻上 凶南、谷口 幹、 藤丸 大也、松本 祐弥、 森下 伊織、山崎 幸村、 吉富 康英	九州から始める農業革命 担い手づくりを支援する「人 に優しい超精密農業」	本事業では、既存の農家や新たに農業を始めたい人々をサポートする「実践的IoT教材」と「農業支援AIシステム」を開発し販売する。近年、超精密農業やスマート農業など農業の効率化が注目されているが、日本の農業人口は減少傾向にあり新規就農者獲得は大きな課題である。そこで、人材育成に着目しAIを用いた「人に優しい超精密農業」を提案し、経験や勤による暗黙知を形式知化することで未来の農業の担い手づくりを支援する。
2	大分大学	経済学部	板井 瑠菜		かぼす蚊取り線香 大分名産かぼすの香りで気持ちも爽やかに！	かぼす蚊取り線香には3つの魅力があります。1つめは、大分名産かぼすを使用していることです。2つめは、かぼすの成分を有効活用していることです。3つめは、摘果かぼすを有効利用していることです。このビジネスの目的は、かぼす農家の方の困りの解決、さらには全国的なかぼすの知名度向上です。摘果かぼすは農家から無償提供、原材料は研究開発で自己調達化を可能にする等の工夫で、収益を生み出します。
3	北九州工業 高等専門学校	生産デザイン 工学専攻	藤原 雛子	田川 誠次郎、 野中 敦	スマートグラスで実現する介護 シーンのRPA this is next generation	介護だけではなく、介護記録の書類作成を行う介護職員の負担は大きい。そうした介護職員の負担を軽減するため、スマートグラスを用いた記録業務の自動化によりサポートを行う。残業時間の軽減や介護に専念できる環境をプロモーション。事業収益はシステムの販売、メンテナンスにより得る。
4	九州大学	大学院工学府 物質創造工学科	石濱 航平	河上 春菜、岩川 龍之介、高橋 諒、井上 宙夢、 山川 冬馬	ワクチンシールの開発・販売 医療を身近に、感染症リスク のない世界を実現	我々は、九州大学が保有する特許技術を用いた「シール型のワクチン薬」の開発・販売を行う。本事業により「病院に行かないとワクチンが打てない」という常識を覆し、誰もが自身で予防接種が行えるワクチンを提供する。顧客は、全国の薬局やコンビニで本製品を買い、敢えて病院に行かなくても、仕事をしながらワクチンの摂取が可能となる。

<p>5</p> 	九州大学	大学院 統合新領域学府	王 シンシン	清水淳史、中島一、小石健仁、江口敦也	Virtual “Bottle keep” System どうも、効率的な接客ぶり、無駄ないボトルキープ Virtual BKです	居酒屋に Virtual “Bottle keep” Systemを提供します。現在のボトルキープはボトルをキープするサービスであり居酒屋側はボトルを管理しなければなりません。本システムではボトルをVirtualizeして瓶の保存から中身の保存へと考え方を移行します。これにより居酒屋側は場所的な制約やボトルを探す大変さ、客側は期限やどの店にキープしたか忘れるなどのボトルキープの煩わしさから解放されます。
<p>6</p> 	福岡女学院大学	人文学部 現代文化学科	櫻井 美月	宮川 晏奈、金山未奈、赤尾 梓、上田 こすも、内田 友梨香、大江加那子、立石 まお、野村 みのり、藤原 麻優、松永 未緒、三村真央、山下 優紀	THE 寺子屋 空白の時間が夢で満たされる 文系女子大生が考案した新学習モデル これが高校3年生が変わります。	政府が新たな方針として「人づくり革命」を発表するほど、現在「人」に関心が向けられています。このビジネスは、その「人」に重点を置き、早期から人材育成していくために空白の時間を持つ高校3年生を対象としました。「人」が育てば、日本社会の未来は明るくなっていくと考えます。収益は、授業運営から得ます。
<p>7</p> 	宮崎大学	医学部 医学科	大立目 真臣	村瀬 希、藤本 鴻 (長崎大学 医学部)	Remote Hospital 簡単に取り組める疾患治療	主に精神疾患をもつ患者に、遠隔医療として認知行動療法プログラムを提供するビジネスである。また受診前の人々に病院や医療資格者を紹介することで、二者間の巡り逢いの援助を行う。弊社は、遠隔医療システムの提供並びに、医療資格者と患者とをつなぐ役割を果たす。収益は患者が遠隔治療を受ける際、診察料からシステム手数料を徴収することと、医療資格者の会員登録料を考えている。
<p>8</p> 	宮崎大学	工学部 環境ロボティクス学科	木下 大輔	井手 優太、太田帆南、外山 開成、福永 昌俊	TOBE (トゥービー) What do you want TO BE?	障がい者は、様々なサービスを利用する場面で障がい者手続きを要求されます。たくさんの手書き書類や電話での応答が必要な障がい者手続きは、障がい者の社会参加への障壁になっています。そこで、私たちは、「障がい者情報データベース TOBE」を提供することで、障がい者が抱える手続きの悩みを解消します。さらに、当サービスは障がい者だけでなく多くの企業にもメリットを生みます。収益は、障がい者と企業からの手数料です。